

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
衛生管理(衛生管理技術)	○		1年生	33	○			有	本田 美由紀
到達目標				成績評価の方法・基準					
・美容の仕事は、直接人に器具に触れて技術を行う				小テスト					
作業で数多いお客様の中には、いろいろな感染症を				定期試験(100%)					
持つ人がいることもあり、そのためにいつも適切な消毒を				ノート提出					
行い病気を未然に防げるよう、美容所において用いられる									
代表的な消毒法等について正しい取扱い等を									
身に付けさせる。									
・アクティブラーニング型授業で、一人一人のやる気を									
引き出す。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
美容師法に基づいた消毒薬・器具・メスシリンダー、バット									
ピーカー、攪拌棒など									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	歴史上の人物とその業績							
		病原微生物と非病原微生物の違い							
3	講義	汚染、感染、発病、消毒、滅菌、殺菌、などの定義を理解させる							
		美容師法に基づいた消毒の方法を説明							
3	講義	理学的消毒法、消毒に必要な条件など							
		化学的消毒法、消毒に必要な条件など							
3	講義	微生物の抵抗力、消毒薬、消毒液の使用、保存上の注意							
		紫外線消毒法について(VTR)							
3	講義	煮沸、蒸気消毒について							
		アルコール類について特徴等(VTR)							
3	講義	塩素剤について							
		界面活性剤について							
3	講義	グルコン酸クロルヘキシジンについて							
		その他の消毒薬(家庭用常備薬)について							
3	講義	すぐれた消毒法の条件、消毒を行う際の注意事項							
		消毒薬のあらまし							
3	講義	濃度の表し方							
		器具の使い方・消毒薬希釈の仕方							
3	講義	希釈法(逆性石けん水溶液・次亜塩酸ナトリウム・水溶液の調整法)(VTR)							
		// エタノールの希釈法							
3	講義	消毒の原則、消毒設備、							
		美容器具類の消毒方法							
3	講義	美容で使用する器具類に対して適した消毒剤の選び方や消毒の際の注意							
		美容室所の消毒設備 (VTR)							
3	講義	美容器具の消毒法・消毒の前に、消毒の際の注意点、							
		蒸し器、紫外線消毒器による消毒の注意点							
3	講義	美容師の手指の消毒							
		清掃							
3	講義	各種消毒薬の希釈の仕方							
		小テスト							
3	講義	小テスト(過去問に挑戦)							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
衛生管理(公衆衛生・環境衛生)	○		1年生	33	○			有	加藤 やよい
到達目標				成績評価の方法・基準					
・公衆衛生とは、多くの人々との生命を守ることで、				小テスト(10%)					
健康にしていくために衛生や環境など、美容師はどんなこと				定期試験(80%)					
を心がければよいかを理解する。				ノート提出(10%)					
・アクティブラーニング型授業で、一人一人のやる気を									
引き出す。									
・各単元で小テストを行い、理解度を確認する。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	公衆衛生の意義と課題							
		欧米の公衆衛生の意義の歩み							
		我が国の公衆衛生の歩み							
3	講義	伝染病予防法の制定							
		出生率の低下							
		死亡率の低下							
3	講義	乳児死亡率の低下							
		平均寿命の延び							
		歴史の中の美容師と公衆衛生、公衆衛生と美容師							
3	講義	予防医学について							
		予防医学について							
		疫学の重要性と予防医学の推進、母子保健、							
3	講義	生活習慣病とその対策、がん・							
		心臓病・脳卒中							
		糖尿病・喫煙・アルコール							
3	講義	老人の保健と福祉							
		老人保健と福祉サービス							
		たんぱく質・脂肪							
3	講義	炭水化物・無機質							
		・ビタミン・食事摂取基準							
		医療制度・医療保険制度・介護保険制度							
3	講義	環境衛生の目的・意義							
		空気と健康、空気成分、							
		空気中に発生する有毒ガス							
3	講義	温度、湿度気流と健康							
		水、空気、日光、気候							
		日光と健康、気候と健康							
3	講義	衣類の衛生、							
		食品の衛生							
		住居の衛生							
3	講義	上水道							
		下水道							
		廃棄物・衛生害虫							
		大気・水質汚濁・その他の公害							
		美容所の衛生管理							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
化粧品化学	○		1学年	66	○			有	田下 美里
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容器具や化粧品を合理的かつ安全に取り扱うためには、				定期試験 (60%)					
化学の理論的知識が必要不可欠である。				小テスト(20%)					
そこで、化学の基本原理を学ぶとともに、主な化粧品の種類				ノート提出(10%)					
使用目的・化学的性質・成分等を学び、これらを正しく使用				レポート提出(10%)					
できるよう正確な知識を身につける。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書 ノート 練習プリント									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～2	講義	化粧品概論 化粧品の定義 化粧品の規制 化粧品の取り扱い注意事項							
3～6	講義	物質の構成・構造 原子量と分子量							
7～9	講義	溶液と溶解度 コロイドの定義と種類							
10～13	講義	イオンとPH 酸塩基の定義と強弱 緩衝作用と緩衝液							
14～15	講義	物質の変化と化学反応 中和反応と塩							
16～17	講義	酸化還元の定義 酸化剤と還元剤							
18～20	講義	タンパク質の構造と性質 ケラチンの性質							
21～22	講義	人体各部(頭皮・皮膚・爪・まぶた・口唇)の性状							
23	講義	水性原料 有機溶媒・無機溶媒							
24～25	講義	油性原料 油脂 ロウ類 炭化水素							
26～28	講義	界面活性剤の基本的性質 界面活性剤の種類							
29	講義	天然高分子化合物 半合成高分子化合物 合成高分子化合物							
30～32	講義	色材 無機顔料 タール色素 パール顔料 天然色素							
33	講義	天然香料 合成香料 調合香料							
34～36	講義	防腐殺菌剤 酸化防止剤 保湿剤 紫外線吸収剤 収れん剤							
37	講義	合成樹脂 接着剤 塗料							
38～39	講義	皮膚清浄用化粧品 石鹼の種類と性質							
40	講義	化粧水の種類と機能性							
41～42	講義	クリーム乳液の皮膚への作用 クリーム乳液の種類と機能							
43	講義	シェービング用化粧品 化粧液 パウダー類 パック剤							
44～45	講義	ベースメイクアップ化粧品 おしろい類 ファンデーション類							
46～47	講義	ポイントメイクアップ化粧品 紅類 アイメイクアップ化粧品 マニキュア製品							
48～49	講義	シャンプー剤 ヘリンス剤 トリートメント剤							
50～52	講義	油性スタイリング剤 液状スタイリング剤 高分子スタイリング剤							
53～57	講義	パーマ剤の原理・分類 パーマ第一剤・第二剤の種類と性質							
58～62	講義	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム 脱色剤 永久染毛剤							
63	講義	育毛剤							
64	講義	芳香製品 香水 オーデオロン							
65～66	講義	サンケア製品 美白用化粧品 制汗・防臭剤 ニキビ用化粧品							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容理論1	○		1	99	○		○	有	島田・上野・水谷
到達目標				成績評価の方法・基準					
技術を学ぶにあたっての理論的根拠を学び技術の習得				定期試験(100%)					
を容易にすること				ノート提出					
				小テスト					
使用教材・教具				参考文献					
美容技術理論 I の教科書									
ノートその他必要に応じて指示する									
P・Pで説明									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	序章 美容技術理論を学ぶにあたって							
		①美容理論と美容技術について ②美容技術における作業姿勢 ③美容技術に必要な人体各部の名称 人体各部の名称・・・頭部、手指の名称(美容技術、理論に必要な基礎知識)							
4～5		人体各部の名称暗記 小テスト							
6～10	講義	第1章 美容用具							
		①美容技術と用具(道具・器具・機械、用具の取り扱い方)							
		②コーム(名称、選定法、手入れ法)							
		③ブラシ(種類、選定法、手入れ法)							
		④シザーズ(種類、名称、選定法、手入れ法)							
		⑤レザー(種類、名称、選定法、手入れ法)							
		⑥ヘアアイロン(名称、選定法、手入れ法)							
		⑦ヘアドライヤー(目的、種類、構造)							
		⑧ヘアスチーマー・遠赤外線機 その他の用具(ピン、クリップ、ロッド、ローラー)							
11～20	講義	第2章 シャンプーイング							
		①シャンプーイングの目的							
		②シャンプー剤の特徴							
		③シャンプーイングの際の注意事項①～⑩							
		④リンス、コンディショナー、トリートメントについて							
		⑥スカルプトリートメント技術の基本ムーブメント							
		⑦スカルプマッサージ技術の一例							
21～23	実習	⑦スカルプマッサージを相モデルで実践							
24～27		第3章 ヘアデザイン							
28～30		美容とヘアデザイン							
31～45	講義	第1, 2, 3章まとめ							
		第4章 ヘアカットイング							
		①ヘアカットイングとは							
		②シザーズとレザーの扱い方							
		③美容刃物							
		④ヘアカットイングの基礎理論							
		⑤ベーシックなカット技法 ①～④							
		⑥ベーシックカット展開図							
		⑨シザーズによるカット技法の種類							
		⑩シザーズによるカット技法(セニング、ポイントイング、スライシング、クリッピング、トリミングカット)							
		⑪レザーによるカット技法(テーパー、セニング、ポイントイング、スリザリングカット)							
カットイングのまとめ									
前期試験 (第1, 2, 3, 4章)									

時間	授業方法	学修内容
46～60		第5章パーマネントウェービング
		①パーマネントウェーブの歴史と現在
		1. 毛髪の構造
		②1液と2液のはたらき ウェーブ形成の理論
		③パーマネントウェーブ用剤の分類、種類
		④パーマネントウェーブ用剤に関する注意事項
		⑤パーマネントウェーブの実際
		⑥パーマネントアラカルト(方向性、アレンジなど)
		⑦パーマネントウェービングのまとめ
		⑧パーマネントウェービングの小テスト
61～75		⑨パーマネントウェービング 国試対策問題
		第6章 ヘアセッティング
		①ヘアセッティングとは
		②ヘアカーリング(シェーピング、スライシング、ベース)
		③ヘアカーリング(ステムの角度、テンション、ループの大きさ、毛先)
		④ループとウェーブの関係
		⑤技法によるカールの種類
		⑥カールピニング
		⑦ピンカールを巻く順序
		⑧それぞれのカールの技術の一例
		⑨ヘアウェービング
		⑩スキップウェーブ
		⑪アイロンセッティング
		⑫アップスタイル
		⑬ウィッグとヘアピース
⑭ヘアセッティングの小テスト		
⑮ヘアセッティング 国試対策問題		
76～99		第7章 ヘアカラーリング
		①ヘアカラーリング概論
		②ヘアカラーのタイプ別特徴
		③染毛のメカニズム
		④色の基本
		⑤毛髪のアンダートーンとレベルについて
		⑥ヘアカラーリングの注意事項
		⑦パッチテスト
		⑧酸化染毛剤の技術プロセス
		⑨ヘアブリーチ
		⑩毛髪化学
		⑪染毛理論
		⑫ヘアカラーリングベーシック
		⑬塗布テクニック
		⑭トーンダウン、トーンアップ、カラーチェンジ
		⑮ヘアカラー基本プロセス(白髪染め)
		⑯ヘアカラー基本プロセス(おしゃれ染め)
⑰ヘアカラーの実際		
		第5章パーマネントウェービング、第6章ヘアセッティング、第7章ヘアカラーリングのまとめ
		後期試験 (第5, 6, 7章)

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
総合技術(メイクアップ)		○	1	60	○		○	有	田口・水谷
到達目標				成績評価の方法・基準					
スキンケア、基本のメイクを学ぶ				定期試験(100%)					
道具の名称と使い方を修得する				課題提出					
検定取得									
使用教材・教具				参考文献					
準備するもの (※印は学校で準備)									
メイクBOX・タオル・めん棒・ティッシュ・ビニール袋									
※コットン・鏡									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	道具の配布							
	実習	各道具の名称、使用方法の確認							
		メイクアップ道具の基本的な配置							
4-6	実習	前回の内容を確認し、道具を基本的な配置に準備してもらう							
	講義	スキンケア概論・皮膚のタイプ							
	実習	立ち位置、クレンジング・化粧水・クリームの手順の解説							
		クレンジング・化粧水・クリームを相モデルで行う							
	講義	コントロールカラーと色別効果							
7-9		前回のおさらい							
	講義	ファンデーションの目的							
		ファンデーションの伸ばし方							
		ファンデーションテクニック							
		フェイスパウダーの目的と効果							
		フェイスカラーの目的と効果							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
10-12	実習	前回のおさらい							
	講義	眉の基本バランス							
		眉カット・眉描きの展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
	講義	まぶたの基本構図							
	アイシャドウの基本的なせ方の展示								
13-15	実習	前回のおさらい							
	講義&実習	アイシャドウのせ方をもう一度展示し、相モデルで行う							
	講義	チークカラーの範囲と中心・種類							
		チークの展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
16-18	実習	前回のおさらい							
	講義	リップの基本バランス・描き方の展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
19-30	実習	全ての流れを相モデルで行い基本の流れを修得する							
30-60	講義	タイプ別のメイクやシーンに合わせたメイクを学ぶ							
	実習	検定取得を目指し、30分で基本工程をすべて行えるように反復練習を行う							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
衛生管理 3編 感染症	○		2	33	○			有	本田 美由紀
到達目標				成績評価の方法・基準					
・なぜ感染症を勉強するのか目的を理解する				小テスト					
・感染症の予防方法を知る				定期試験(100%)					
・美容師にとって必要な感染症の知識を1つ1つ印象付けて覚える				個人発表の評価					
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
P.P									
資料(プリント)									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1	講義	感染症発見の歴史・・・人と感染症と戦いどのような業績を残したか							
2～3	講義	感染症がどのように分類されているか、法律上の分類							
4～6	グループ別で発表	法律による分類、身体への侵入・感染経路による分類、病原体別の分類							
7	小テスト	法律上の分類と病原体別に覚える暗記の仕方							
8～9	講義	病原微生物にはどのような種類があるか							
		病原微生物の形や大きさ、構造、特長など							
		病原微生物の生活現象について							
		病原微生物は環境の影響によりどうなるのか							
10～11	講義	感染症の予防・・・微生物の病原性、人体の感受性、遺伝について							
12～13	講義	汚染・感染・発病について							
14～15	講義	免疫と予防接種							
16～17	講義	感染症発生の3大要因・・・感染源・感染経路・宿主の感受性							
18～19	講義	感染症予防について・・・感染源に対する対策・感染源に対する対策・人体に関する対策・個人予防対策							
20～22	講義	2章 感染症の各論・・・美容師の健康管理と感染症の基礎知識の重要性							
		主な感染症・・・空気・飛沫を介して感染する感染症							
		飲食物を介して感染する感染症							
		動物・節足動物を介して感染する感染症							
		血液等を介して感染する感染症							
23～24		接客時の感染予防策・・・標準予防策							
		咳のある客への対応							
		病変の皮膚を持つ客への対応							
		嘔吐をした客への対応							
25～30	個人発表	まとめと復習							
30～33	小テスト	国家試験過去問題に挑戦							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
保健(人体の構造及び機能)	○		2年	33	○			有	島田 幸長
到達目標				成績評価の方法・基準					
皮膚、毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識を美容技術と関連させながら学ばせ、單元ごとに理解させる。				定期試験(60%)					
				小テスト(30%)					
				ノート提出(10%)					
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート				『マンガでわかる人体のしくみ』 坂井建雄監修 池田書店					
3D映像				『ぜんぶわかる人体解剖図』 坂井建雄・橋本尚詞著者 成美堂出版					
プリント(問題集)				ヒューマン・シアンatomy・アトラス2019					
				筋肉/骨格ー解剖学3Dアトラス					
授 業 計 画									
時間	授業方法		学修内容						
1	講義		人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学						
2	小テスト								
3	講義		骨の種類と構造						
4			骨の連結 骨格器系とそのはたらき						
5	小テスト								
6	講義		筋の種類とその特徴						
7			主な骨格筋とそのはたらき						
8			顔面筋と表情運動 理容・美容の作業と筋疲労						
9	小テスト								
10	講義		神経系の成り立ち						
11			中枢神経とそのはたらき						
12			末梢神経とそのはたらき						
13	小テスト								
14	講義		視覚						
15			聴覚						
16			平衡感覚						
17			味覚						
18			嗅覚 皮膚感覚						
19	講義		血液のあらまし						
20			血液循環の仕組み						
21			血液の循環経路						
22			心臓と血管のはたらき						
23			リンパ管系の仕組みとはたらき						
24	小テスト								
25	講義		呼吸器系のあらまし						
26			気道						
27			肺の仕組みとガス交換 呼吸運動						
28	小テスト								
29	講義		消化器系のあらまし						
30			消化管の仕組み						
31			消化管のはたらき						
32			消化と物質代謝						
33	小テスト								

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
保健(皮膚科学)	○		2年	66	○			有	永本 真由美
到達目標				成績評価の方法・基準					
皮膚および皮膚付属器官の構造や機能、保健衛生など				小テスト(単元毎)					
また疾患についての知識とその予防を理解する。				定期試験(100%)					
皮膚および皮膚付属器官の疾患についての知識と									
その予防について学習する。									
使用教材・教具				参考文献					
パソコン									
プロジェクター									
プリント									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	第1章 皮膚の構造 ・皮膚表面 ・皮膚の断面 ・表皮							
4～5	講義	・表皮と真皮の境 ・真皮 ・皮下組織 ・皮膚の部位差							
6	小テスト								
7～12	講義	第2章 皮膚付属器官の構造 ・毛 ・脂腺							
13～18	講義	" ・汗腺 ・爪							
19	小テスト								
20～21	講義	第3章 皮膚の循環器系と神経系 ・皮膚の血管 ・皮膚のリンパ管 ・皮膚の神経							
22～24	講義	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ・対外保護作用 ・体温調節作用							
25～27	講義	" ・知覚作用と皮膚反射 ・分泌排泄作用							
28～29	講義	" ・呼吸作用 ・吸収作用 ・貯蔵作用							
		・免疫、解毒、排除作用 ・再生作用 ・毛のはたらき ・爪のはたらき							
30	小テスト								
31～33		テスト勉強							
	定期試験								
34～36	講義	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ・皮膚と全身状態 ・皮膚と精神 ・皮膚と栄養							
37～39	講義	" ・皮膚と嗜好品 ・皮膚と体内病変 ・皮膚の水分と脂の状態							
40～41	講義	" ・皮膚、付属器官とホルモン ・皮膚の保護と手入れ							
		・毛の保護と手入れ ・爪の保護の手入れ							
		・子どものおしゃれによる皮膚トラブル							
42	小テスト								
43～45	講義	第6章 皮膚と皮膚属器官の疾患 ・皮膚の異常とその種類 ・皮膚疾患の原因 ・皮膚疾患の治療法							
46～48	講義	" ・皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹 ・口唇の疾患							
		・温熱、寒冷による皮膚障害							
49～51	講義	" ・角化異常による皮膚障害 ・色素異常による皮膚疾患							
		・血管腫 ・脂腺母斑 ・下肢静脈瘤							
52～57	講義	" ・分泌異常による皮膚疾患 ・化膿菌による皮膚疾患							
		・ウイルスによる皮膚疾患							
58～60	講義	" ・真菌による皮膚疾患 ・衛生害虫による皮膚疾患							
		・感染症の皮膚疾患							
61～62	講義	" ・毛と爪の疾患 ・皮膚の腫瘍							
63	小テスト								
64～66		試験勉強							
	定期試験								

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
美容文化論	○		1年生	66	○			無	上野 広大
到達目標				成績評価の方法・基準					
現代のファッションや技術に至るまでの過程を				定期テスト					
知ること新しいデザインを創造する力をつける				ノート提出					
				出席状況					
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
文化論教科書									
筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	総論 1. 理容・美容の語義 2. 理容・美容と現代社会 3. 文化史の中の理容・美容 4. 理容・美容と造形要素 5. 理容師・美容師の仕事の中で							
3～9	講義	日本の理容業・美容業の歴史 1. 理容業・美容業の発生 2. 江戸時代の理容業・美容業 3. 近代の理容業・美容業 4. 現代の理容業・美容業							
10～18	講義	ファッション文化史(日本編) 1. 縄文・弥生・古墳時代 2. 古代(飛鳥・奈良・平安時代) 3. 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 4. 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)							
19～27	講義	5. 近世Ⅱ(江戸時代) 6. 近代(明治・大正・昭和20年まで) 7. 現代Ⅰ(1945年～1950年代)							
28～36	講義	8. 現代Ⅱ(1960年代～1970年代) 9. 現代Ⅲ(1980年代～1990年代) 10. 現代Ⅳ(2000年代以降)							
37	小テスト	ファッション文化史(日本編)小テスト							
38～41	講義	ファッション文化史(西洋編) 1. 古代エジプト 2. 古代ギリシャ・ローマ 3. 古代ゲルマン 4. 中世ヨーロッパ							
42～45	講義	5. 近世Ⅰ(16世紀) 6. 近世Ⅱ(17世紀) 7. 近世Ⅲ(18世紀) 8. 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)							
46～49	講義	9. 近代Ⅱ(19世紀) 10. 現代Ⅰ(1910年代～1920年代) 11. 現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半) 12. 現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代)							
50～53	講義	13. 現代Ⅳ(1960年代) 14. 現代Ⅴ(1970年代) 15. 現代Ⅵ(1980年代) 16. 現代Ⅶ(1990年代～2010年)							
54～56	講義	礼装の種類							
57	小テスト	ファッション文化史(西洋編)、礼装の種類小テスト							
58～66	講義	総復習							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容技術理論2	○		2年生	33	○			有	加藤 やよい
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容師として必要な技術の知識を理解する。				小テスト(10%)					
国家試験問題に対して正しく				定期試験(80%)					
解答できるようになる。				ノート提出(10%)					
使用教材・教具				参考文献					
教科書、ノート、筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～8	講義	エステティック	エステティックの概論 カウンセリング 皮膚の生理と構造 マッサージ理論 フェイシャルケア技術、デコルテ フェイシャルパック						
9～12	講義	ネイル技術	ネイル技術の種類 爪のカット形状・構造 ネイルケア アーティフィシャルネイル 手足のマッサージ						
13～19	講義	メイクアップ	顔の形態的観察 メイクアップと色彩 スキンケア ベースメイク アイメイク リップメイク ブラッシュオンメイク まつ毛エクステンション						
20～25	講義	日本髪	日本髪の由来 名称・種類と特徴 日本髪の各部の名称 日本髪の結髪技術 かつらのつけ方						
26～33	講義	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装・季節に合った着物 着物のいろいろ 帯の種類・小物類 各部の名称・たたみ方 着付けの手順 男性着付けの礼装 男性、女性の袴の着付け						

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容技術理論2 (色彩)	○		2年生	33	○			有	上野 広大
到達目標				成績評価の方法・基準					
				検定試験(100%)					
配色の基本、理論									
色彩検定3級(希望者は2級、1級)を									
取得できるようになる。									
使用教材・教具				参考文献					
・教科書 ・ファイル ・筆記用具									
・のり(テープのり) ・はさみ									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	色のはたらき	①色のはたらき						
		光と色	①色はなぜみえるのか						
			②眼の仕組み						
			③照明と色の見え方						
			④混色						
4～6	講義	色の表示	①色の分類と三属性						
			②PCCS						
			③言葉による色表示						
7～9	講義	色彩心理	①色の心理的効果						
			②色の視覚効果						
10～12	講義 (一部実技予定)	色彩調和	①配色の基本的な考え方						
			②色相から配色を考える						
			③トーンから配色を考える						
			④配色の基本的な技法						
			⑤配色演習の解答例と解説						
13～15	講義	色彩効果	①色彩と構成						
		色彩と生活	①色彩と生活						
		ファッション	①ファッションとは						
			②ファッションと色彩						
		インテリア	①インテリアと色彩						
			②インテリアのカラーコーディネート						
16	講義	慣用色名	色名とPCCSを関連付けて暗記する						
17～33		復習・模擬試験(過去問)							
※6/23	検定	色彩検定 2級 3級							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
運営管理	○		2年生	33	○			有	島田 幸長
到達目標				成績評価の方法・基準					
日常の仕事に必要な心構えから、自分が店を開いて運営していくまでの幅広い内容を、3つの単元に分け、できる限りわかりやすく勉強していく。				定期テスト(90%)・ノート提出(10%)					
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
パソコン・テレビ									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1		第1章 経営とは・経営者とは							
		第1節 経営が必要とされる理由				1 経営とは何か 2 経営の最大のテーマ:継続企業の原則			
2		第2節 継続が難しい理由=経営が必要な理由							
		1 変化 2 競争 3 経営の必要性							
3		第3節 経営とは何か							
		1 経営の目的:継続を実現するために 2 経営の成果:利益とは何か							
4		第4節 経営資源と経営計画							
		1 経営資源 2 経営計画							
5		第5節 経営戦略							
		1 経営戦略とは 2 経営戦略の視点 3 経営者の視点							
6		第6節 経営戦略が目指すもの							
		1 よい店をどう実現するか							
7		顧客に選ばれるよい店の実現							
		2 クオリティの実現							
8	講義	第2章 理容業・美容業の経営について							
		第1節 業界の概要							
9		1 理容・美容業界の現状 2 今日の理容店・美容店							
		第2節 競争の変化							
10		1 競争 2 競争の方向性の変化							
		第3節 サービスとしての理容・美容							
11		1 サービスは経験の提供 2 顧客が決めるサービス							
		3 サービスを実現するもの							
12		第4節 理容業・美容業の顧客について							
		1 顧客が来るのは当たり前ではない 2 理容・美容の顧客の特徴							
13		第3章 資金の管理							
		第1節 資金管理の重要性							
14		1 資金管理とは 2 会計の活用							
		第2節 収支と損益							
15		1 収支とは 2 損益とは 3 収支と損益が異なる例							
		第3節 会計の考え方							
16		1 会計が目指しているもの 2 会計の考え方 3 会計の応用							
		第4節 コストを管理する							
17		1 利益の仕組み 2 コストの仕組み 3 コストを削減するために							
		第5節 税金について							
18		1 税金の種類とその内容 2 税金を払うタイミング							
		3 税金を支払わないときの罰則							
19		第2編 人という資源 従業員としての視点							
		第1章 人という資源							
20		第1節 人という資源とは							
		1 人という資源の特徴と課題 2 労務管理の目指すもの							
21		第2節 人の能力を高める							
		1 採用について 2 理容業・美容業のトレーニング				3 トレーニングと資格制度			
22		第3節 人をやる気にさせるために							
		1 やる気とは何か 2 やる気と高める							
23		第4節 給与							
		1 給与の役割 2 給与の設計							
24		第5節 待遇・福利厚生							
		1 評価・待遇 2 福利厚生 3 休暇							
25		第6節 労働者の権利							
		1 働く者の権利 2 適正な労使関係の構築				3 新しい問題への対応			
26		第2章 健康・安全な職場環境の実現							
		第1節 健康管理の基礎							
27		1 健康管理とその仕組み 2 健康診断							

14		第2節 理容・美容の仕事と健康	1 人的サービス・顧客に求められるサービスゆえの健康問題 2 職務の特性と健康問題 3 経営者としての責任
		第3節 理容業・美容業に特徴的な健康問題	1 理容・美容の仕事と疲労 2 理容師・美容師に多い健康問題
15・16		第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題	1 採光 2 換気 3 温度・湿度
		第3章 従業員としての視点から	
		第1節 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任	1 社会人としての責任 2 理容・美容という仕事ゆえの責任 3 新しい責任
17		第2節 社会保険① ～公的年金～	1 国民年金 2 厚生年金保険
18・19		第3節 社会保険② ～医療保険～	1 健康保険 2 国民健康保険 3 介護保険
20・21		第4節 社会保険③ ～労働保険～	1 雇用保険 2 労働者災害補償保険
22・23		第5節 キャリアプランの重要性	1 進むべき道を考える 2 準備 3 キャリアプランのメリット 4 自己管理・将来設計
		第6節 仕事をするうえで考えるべきこと	1 サービス提供者としての役割とは 2 仲間と働くうえでの役割
24	講義	第3編 顧客のために	
		第1章 顧客が求める価値	1 サービス・デザインとは 2 サービス・デザインの要点
25		第2章 価値の実態	1 価値の構造 2 競争の現実
26		第3節 顧客満足の実現のためのシステム	1 価値を実現するシステム 2 顧客満足とシステム
		第4節 最も重要な価値:人	1 人の役割 2 最も目立つ価値
27		第5節 価値の多様性 顧客が求めるもの	1 顧客が求めている価値 2 実現すべき価値は多種多様
		第6節 サービスの範囲	1 サービスの範囲とは 2 サービスの範囲と経営
28		第2章 マーケティング	
		第1節 理容業・美容業のマーケティング	1 理容業・美容業のマーケティングの特徴 2 マーケティングの要点
29・30		第2節 マーケティング・ミックス	1 マーケティング・ミックスの要因 2 マーケティング・ミックスと市場
		第3節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因①	1 短期的要因と長期的要因 2 価値 3 価格(料金)
		第4節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因②	1 顧客とのコミュニケーション 2 アウトバウンド・コミュニケーション 3 インバウンド・コミュニケーション 4 コミュニケーションのポイント 5 コミュニケーションに関する留意点
		第5節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因①	1 インターフェイス 顧客とつながる「窓口」 2 インターフェイスに関わる課題 3 インターネットの功罪
31		第6節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因②	1 人 2 物的要因 3 プロセス
32		第7節 サービスのシステム化	1 システムとして動くこと 2 価値を保持する リーダーの役割
		第3章 サービスにおける人の役割	
33		第1節 接客についての理解	1 接客の誤解をとく 2 よい接客とは何か
		小テスト	

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
美容実習	○		2年生	420			○	有	本田 美由紀 濱口 真裕子
到達目標				成績評価の方法・基準					
・2年間を通して学んだ実技の総仕上げを実践で行う。				実技試験(100%)					
・サロン形式で行う事により、即サロンワークに繋がる。									
使用教材・教具				参考文献					
実技道具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1~48	実技	①身なり服装のチェック(リングやブレスレット)							
		②シャンプーの手順の確認							
		③指の動きはリズムカルにできているか							
		④力加減は適当であるか							
		⑤水圧の調整はできているか							
		⑥全体の流れがスムーズであるか							
		⑦声かけがしっかりできているか							
		⑧やさしさは感じられたか							
		⑨シャンプー台のまわりはきれいに片付けができていますか							
		⑩シャンプーは気持ちよかったですか							
48~75	実技	①レイヤーカット(ロング・ミディアム)							
		②セイルングスカット							
		③グラデーションカット(サスーンab、ba)							
		④メンズカット(刈り上げとツーブロック)							
75~102	実技	①人頭とウィッグで巻く時の違い							
		②ゴムかけの確認							
		③スライス幅、テンションのかけかたコームの使い方							
		④ステムの角度							
		⑤ロッドの選定の方法							
		⑥パーマメントウエーブ用剤の選定法							
		⑦パーマメントウエーブの手順							
		⑧ターバンタオルの使用方法							
		⑨パーマメントウエーブの実際							
102~111	実技	①カウンセリング(色の確認)							
		②毛髪診断							
		③白髪染めのテクニック(薬剤ののせ方、リタッチ)							
		④おしゃれ染めのテクニック(ワンタッチ)							
		⑤おしゃれ染めのテクニック(ツータッチ)							
		⑥ヘアカラーのお流し(乳化テクニック)							
111~290	実技	バランス(ウエーブの幅・割れ・位置など)に注意する							
		髪のとかし方、ウエーブの位置							
		指の位置、コームの回転の確認							
		カールの収める位置を確認、カールの確認、							
		ピンギ(ピンの持ち方、開き方、留め方)							
		25分でキレイに完成させる 国家試験合格レベルまで到達する							
290~420	実技	①展開図、切り方の説明							
		②国家試験採点項目の説明							
		③採点項目の理解							
		④時間をはかりながら練習する							
		⑤お互いに採点しあう							
		⑥カットラインの正確さをチェックする							
		⑦15分で切り終わり、5分間チェックする							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
エステティック		○	2年生	66	○	○	○	有	石見メルル雅子
到達目標				成績評価の方法・基準					
・一人ひとり異なる身体や心の特徴、状態を踏まえながら、化粧品や関連機器、器具さらにエステティック技術、カウンセリングを駆使して、お客様の心に満足とやすらぎを与えるとともに、肌や身体を健康的で美しい状態に保持、保護する方法を習得する。				実技試験(50%)					
				筆記試験(50%)					
使用教材・教具				参考文献					
エステティックFUKUSHO教本 エステティック器具 機械 化粧品 コットン 精製水 ティッシュ				エステティックFUKUSHO FACIAL BASIC THEORY エステティックFUKUSHO FACIAL BASIC TECHNIQUE					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	エステティック概論 エステティック業と法律							
4～6	演習実技	ベット、ワゴンセッティング・ベットご案内・ドレーピング・ターバン							
7～9	講義	エステティックカウンセリングの意味と目的、スキンチェック							
10～12	演習実技	相モデル セッティング サブテクニク復習 スキンチェック							
13～15	講義	肌質について・皮膚トラブルについて							
16～18	演習実技	セッティング ・サブテクニク復習							
19～21	講義	エステティック機器学 スチーム アイオニック ピーリング キッシング パター							
22～24	実技	エステティック機器学 クール&ウォーム スプレー							
25～27	実技	中間テスト 筆記試験							
28～30	実技	" 実技試験							
31～36	講義	フェイシャルトリートメント総論							
37～44	演習実技	フェイシャルトリートメント(クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック)							
45～52	実技	フェイシャルトリートメント(クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック)							
53～60	実技	フェイシャルトリートメント(クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック)							
60～66	講義実技	総合試験 筆記試験 実技試験							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容 カウンセリング		○	2年生	66	○		○	有	濱口 真裕子
到達目標				成績評価の方法・基準					
・人とのコミュニケーションをどのようにとっていくか。				ノート提出					
・サロンにおけるヘア・ケアアドバイスや毛髪の				定期試験(100%)					
基礎知識を学習				小テスト					
・就職活動の流れとポイントを学習									
使用教材・教具				参考文献					
テキスト、ノート、プリント、必要に応じて指示する									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	就活に備えて学習							
5～6	実習	ピアカウンセリングの目的							
7～8	講義	カウンセリング内容をクライアントの欲求で分ける							
	講義	コンサルティングとは							
	講義	コーチングとは							
	講義	心理カウンセリングとは							
9～17	講義	個人情報保護							
	講義	心の仕組みと働き							
	講義	コミュニケーションとストレスの関係							
	実習	カウンセリングのプロセス							
	講義	3つの相談方法							
18～28	実習	ロープレーによる傾聴訓練							
	実習	エンカウンターグループ							
	実習	スキルアップ訓練							
	講義	職場で起こるトラブル対応の訓練							
29～31	講義	4つノメンタルヘルスケア							
	講義	ストレス管理							
	講義	ストレッサーとストレス反応							
	講義	カウンセリングは重要な職場のシステム							
32～34	講義	毛髪・皮膚コンサルティング							
	講義	美容室でのコンサルティングの必要性							
	実習	コンサルティング正しく行うために							
	実習	コンサルティングを行う際の態度							
	講義	サロン繁栄のためのコンサルティング							
35～37	講義	機器診断と触診							
	講義	毛質(髪質)について							
38～40	講義	顧客の希望の確認							
	講義	断毛と脱毛							
	講義	頭皮の確認							
	講義	薬液の選定と施術料の提示							
41～44	講義	ヘアカラー製品の選定							
	講義、実習	酸化染毛剤のパッチテスト							
	講義	パッチテストで異常を生じた際の対応と染毛料の使用							

授 業 計 画

時間	授業方法	学修内容
	講義	染め上がりの色と退色
	講義	染毛剤使用上の注意について
45～54	講義	シャンプー
	講義	ヘアトリートメント
	講義	施術後のヘアデザイン
	講義	ヘアカット
	講義	ヘアスタイリング剤
	講義	ヘナ製品
55～66	講義	化粧品の使用上の注意と使用方法
	講義	毛髪の痛みの原因について
	講義	化粧品、医薬部外品についての正しい知識

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
総合技術		○	2年生	300	○	○	○	有	本田 美由紀 濱口 真裕子
到達目標				成績評価の方法・基準					
・就職ガイダンスで就職について考える				実技試験(100%)					
・芸術にふれ、感性を磨く									
・サロンでの実習を通して、実践力を養う									
・BAPでプロの技を見て学ぶ									
・モデルさんを担当して実践力をつける									
・ヘアショーを成功させる									
使用教材・教具				参考文献					
実技道具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
12	就職ガイダンス	42社の説明会							
3	合同WD	2年生が1年生へ指導する							
3	美術館鑑賞会	3つのグループに分かれて観賞							
3	技術大会選考会	WD、カットなどに分かれて実施							
72	インターンシップ	県内外のサロンで職場実習							
15	BAP	県内外のサロンに協力してもらい実施予定							
12	センター訪問	2つのグループに分かれて、一人2回訪問							
9	総合技術	モデルさんに来て頂き、施術(カット・パーマ・カラーなど)							
12	スポーツ大会	長崎県の専門学校対抗で競技							
72	ヘアショー	グループに分かれて、リーダーシップの実践							
6	ハロウィンパレード	市内をパレード							
6	KENBI祭	皆で楽しむ、日ごろの実技の成果を披露する							
33	食品	健康や食品などについて学ぶ							
42	国家試験対策	国家試験合格に向けて100%を目指す							

長崎県美容専門学校 2019年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
総合技術(食品保健栄養理論)		○	2年	33	○		○	有	脇山 順子
到達目標				成績評価の方法・基準					
①人として健康に食べる力をつける。				レポート提出(20%)					
②人間らしく楽しく食べる力をつける。				定期試験(80%)					
③環境に優しく食べる力をつける。									
④食育基本法を理解する。									
⑤食事のバランスと適量を理解する。									
⑥病気になる食事を理解する。									
⑦栄養素の働きと食事摂取量を理解する。									
⑧食の欧米化と日本型食生活を理解する。									
使用教材・教具				参考文献					
資料									
レジュメ									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	1 主食、主菜、副食、副々食が揃った食事 <small>(日本型食事内容＝ご飯と一汁三菜)</small>		○脳を活性化させるのに必要な糖質を理解する ○生命の維持に必要なたんぱく質を理解する ○ビタミン、ミネラル、食物せんいの役割を理解する ○栄養のバランスのよい食事を理解する ○何をどれだけ食べればよいのかを理解する					
4～6	講義	2 朝食の役割と効用		○朝食と学力向上の関連性について理解する ○共食のメリット&孤食のデメリットを理解する ○年齢・性別に応じた適量を理解する ○適量が守れない傾向を理解し、その対策を考察する					
7～9	講義	3 噛む力を育む食事		○噛むことのメリット(卑弥呼の歯がいいぜ)を理解する ○噛む力と味わう力との関連性を理解する ○基礎代謝と基礎代謝を高める食べ方を理解する ○空腹感と満腹感のしくみを理解する					
10～12	講義	4 健康な骨を育てる食事		○骨密度が特に増えやすい年齢を理解する ○丈夫な骨と適度な運動の必要性を理解する ○日常生活における運動不足の原因を考察する					
13～15	講義	5 便秘・冷え症対策を考えた食事		○食生活に便秘の原因がないかを考察する ○便秘解消のための食生活改善点について理解する ○食生活に冷え性の原因がないかを考察する ○冷え性解消のための食生活改善点について理解する					
16～18	講義	6 脳をいきいきとさせる食生活とは <small>(国家試験に向けての脳の活性化)</small>		○脳のしくみと脳に必要な栄養素を理解する ○自分自身の脳疲労度とその解消法を理解する ○先人が実行してきた健脳食ベスト10を理解する ○医食同源の考え方を理解する ○自分自身の体質がどのタイプに属するかを考察する					
19～21	講義	7 体温と免疫力の関連性		○バランスの悪い食事による体内の変化をりかひする ○低体温になる9つの行為を考察する ○体を冷やさない食事の必要性を理解する ○体を温める食生活について理解する					
22～24	講義	8 ストレスと食事の関連性		○ストレスの感じ方には個人差があることを理解する ○ストレスを受けやすいタイプかどうかを考察する ○ストレスによる食生活の変化を理解する ○ストレスに関わる栄養素とそれを含む食品を理解する ○ストレスと上手につきあう10か条を理解する					
25～27	講義	9 髪の毛のトラブルと食生活について		○髪に必要な栄養素について理解する ○抜け毛、枝毛の原因と防ぐ食べものを理解する ○亜鉛欠乏症についてその対策を考察する					
		(次回の調理実習の準備)		○実習するための班を編成する ○実習内容を話し合っ決定する ○食材・器具など役割分担を話し合っ決定する					
28～30	実習	10 簡単に出来る調理実習(その1)		○グループで安全・安心な調理をする楽しさを味わう ○反省と次回の取り組みを確認する					
31～33	実習	11 簡単に出来る調理実習(その2)		○グループで安全・安心な調理をする楽しさを味わう ○反省と家庭(一人暮らし)での実践力を考察する ○郷土食には先人の知恵が結集されていることを知る ○無形文化遺産としての和食を継承する必要性を知る					